

# 京橋の印刷

1月15日1981・No. 33

発行所

東京都印刷工業組合京橋支部  
〒104 東京都中央区新富1-16-8  
日本印刷会館3F 電話 552-1855

印刷所 八千代印刷株式会社  
編集 田島 弘



## 目次

京橋支部新年臨時総会	2
お礼のことば	9
新年の愛い	12
△地区幹事さん紹介▽	
月島地区	13
数字ざらい	14
京橋法人会東五支部	
新年賀詞交歓会	15
組合員の声	16
支部の動き・編集後記	16

## 巻頭一言

印刷工業組合でおこなう講習会、研修会、講演会に参加しても役立つ情報が得られない、作業に追われるなかで時間を割いて記入した調査表も、どのような施策がはね返って来るのか……？ 組合の存立に係わると結論されている貴重なご意見を本号に寄せて頂いた。

印刷工業組合は、組合員の改善発達や、公正な経済活動の機会の確保、ならびに経営の安定を図ると云う目的が果されなければ、組合員の組合への期待や、事業への参加が空しく、組合の存在と活動が問われ、組合無用論に発展しかねない。相互に具体的に問題を提起をし円滑な組合運営に心がけることである。



# 昭和56年 京橋支部新年臨時総会開催 於銀座東急ホテル

東印工組京橋支部新年臨時総会は正月も七草あけの九日(金)午後四時半より、銀座東急ホテルに於て開催された。先ず司会の水野副支部長が、

「定刻も少々過ぎましたが、只今より東印工組京橋支部新年臨時総会を開催させて頂きます。本日は新年のお忙しい中を多数ご出席頂きまして有難うございます。私は本日司会を勤める水野でございます。何分にも不慣れでございますが、最後までよろしくお願い申し上げます。それでは開会の辞を田島副支部長にお願い致します。」と田島副支部長を紹介した。田島副支部長は

「明けましておめでとうございます。本日は、支部新年臨時総会に際しまして、

開会の辞は田島副支部長



開会の辞は田島副支部長

多数組合員の皆様にご参加頂きまして誠に有難うございます。また本部より久永理事長様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜わりまして深く感謝申しあげます。例年この臨時総会は、熱海で開催されておりましたが、本年は趣をかえまして都内ということになりました。



祝・創刊  
三周年

京橋支部顧問・相談役・参与の会

顧問 高橋 与作 正進社印刷(株)

伊坂 一夫 伊坂美術印刷(株)

花崎 実 大東印刷工業(株)

中村 謹吾 日本精版印刷(株)

白橋 龍夫 白橋印刷所

市川 仁作 三和印刷社

斉藤 喜徳 倫斉藤正文堂

石沢 幸 石沢印刷(株)

瀬戸 昇之助 昇寿堂

片岡 義郎 共立印刷(株)

荒川 隆晴 三荒印刷興業(株)

池宮 義久 三進印刷(株)

久保田 幸一郎 東京真宏印刷(株)

小宮山 敬之 小宮山印刷(株)

大竹 次郎 大竹印刷所

榎本 栄七郎 榎本印刷所

荒井 政吉 榎荒井美術

加瀬 文吉 文寿堂印刷(株)

森 元雄 榎モリイチ

松岡 繁夫 榎文海堂

小山 英美 高千穂印刷(株)

児玉 正己 信濃印刷(株)

大橋 忠治 東銀座印刷出版

土井 嘉光 土井印刷(株)

小倉 忠昭 榎小倉印刷(株)

小倉 武治 榎相互美術印刷

長島 伸行 榎長島印刷所

参与

大竹 次郎 大竹印刷所

榎本 栄七郎 榎本印刷所

荒井 政吉 榎荒井美術

加瀬 文吉 文寿堂印刷(株)

森 元雄 榎モリイチ

松岡 繁夫 榎文海堂

小山 英美 高千穂印刷(株)

児玉 正己 信濃印刷(株)

大橋 忠治 東銀座印刷出版

土井 嘉光 土井印刷(株)

小倉 忠昭 榎小倉印刷(株)

小倉 武治 榎相互美術印刷

長島 伸行 榎長島印刷所

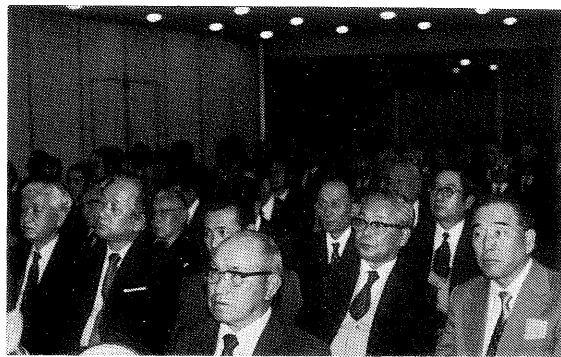
ホテルを選ばせて頂きました。今迄にない多数のご参加を賜わったわけであり、これもひとえに皆様方の、組合行政に対するご理解の賜によるものと、深く感謝を申しあげます。次第でございます。それではこれより昭和五十六年度の新年臨時総会を開催させていただきます。皆様方のお力添えをお願い致しまして、開会の挨拶とさせていただきます。――

次いで、石曾根支部長の挨拶が次のように行なわれた。

――只今の開会のご挨拶にもありましたように、都内で開催致しましたのは、今回が初めてのように思いますが、当支部の緊縮財政の上からも、今迄とは違った場所をとらせて頂きましたが、組合員の皆様のご支持、ご協力によりまして、多数の方々のご出席を頂戴致しましたことは、執行部の方針に対し、皆様のご理解があったものと感謝申しあげます。次第でございます。

また、ご来賓の皆様には、年初何かとご繁忙のところ、お寒さもおおいとなく本部より久永理事長殿を初め、中央区の横関区長殿の代理と致しまして、鈴木商工課長殿が参られております。さらに昨年十月に中央区工業文化展を開催致しまして、その主催をなされた工団連の白橋会長殿、また今回は印刷会館五階におられます、東京商工会議所中央支部の根本事務長殿もお見えになっておられます。各方面にご活躍の、多数のご来賓のご臨

席を賜わりまして誠に有難く、深くお礼を申しあげます。なお私達の兄弟支部であります、日本橋支部の平林支部長殿、製本工業組合京橋支部の牧野支部長殿、また私共が現在推進中の構改革業を、第一次、第二次と一緒に行なうて参りまして、東京軽印刷工業会中央支部の綿貫



総会々場に溢れる組合員の熱気

支部長殿もお招き申しあげております。本当に有難うございます。

それでは八一年の新春を迎えまして、組合員の皆様、協調と団結の絆を固くし、皆様のご企業の益々のご発展を祈念致し、さらにまた、関連友誼団体との連帯を強固に致すために、執行部一同の心からご挨拶と、ご祝詞を申しあげます。

さて昨年は七〇年代からの多くの問題点を抱えながら、激動と混沌の八〇年代の幕あけに相応しく、内外の厳しい情勢はご高承の通りであります。第二次石油ショックに端を発し、原油の大幅値上で諸物価は押し上げられ、シルバーストック等による国際的な銀の暴騰は、印刷諸材料の高騰を招き、この価格転嫁運動を組織をあげて展開してまいりました。

激動と混沌の年でありまして、何が起るか、お先真暗のなか政局は参院選がらみで、保革伯仲から連合の時代へなどと言われていたのですが、自民党の派閥の争いから、大平内閣の不信任が成立し、衆参両院同時選挙となり、その最中に大平首相が亡くなられ、その結果は、私も組合が推薦を致しました候補が多数当選するなどの、自民党の圧勝で終わったのであります。今度は私たち中小企業にも潤いがあるのではと考えたのであります。その当ても外れて政府・自民党は、財政再建を建前に、一兆四千億もの大型消費税を含む、大増税を行ない、中小企業への助成や福祉が後退をし、防衛費だけが幅をきかす状態であります。

また印刷業界へは、他産業からの参入問題が不安を呼び、昨年末は一段と厳しさを加えたのであります。

更に今年には国会の議決を経ずに、国鉄運賃をはじめとする、公共料金の値上げができることと、その値上げは目白押しで、特に郵便料金はハガキの二十円



祝・創刊三周年

東京都印刷工業組合・京橋支部

支部長 石曾根 啓悦 八千代印刷(株)  
副支部長 田島 弘 聖文社印刷(株)

坂田 利正 秀英堂紙工印刷  
田島 一弥 株式会社印刷所

三田村 桂太郎 三田村印刷所  
三田村 克明 三田村印刷所

室田 利一 室田印刷(株)  
水野 雅生 水野写真工芸印刷所

神田 半三 永和堂(株)  
竹内 喜夫 三青社

監査 神田 半三 永和堂(株)  
竹内 喜夫 三青社

京橋 安田 博威 丸栄(株)  
銀座 児玉 昭太郎 京屋(株)

新富 中村 憲吉 日本精版印刷(株)  
築地 神田 半三 永和堂(株)

八丁堀 畑井 健良 文英堂印刷(株)  
湊 長島 一磨 大秀社

八丁堀 村上 繁夫 明文社印刷(株)  
新川 伊森 善之 昌平堂印刷(株)

月島 小池 馨 安信製版(株)

地区幹事 尾島 賢一郎 三徳印刷(株)  
村上 洋二 光ビジネスフォ

銀座 永島 洋二 冬水印刷(株)  
保木 宏勝 大秀印刷(株)

松岡 誠一郎 文海堂  
新富 小林 恒夫 信誠印刷(株)

築地 小森 常雄 小森印刷(株)

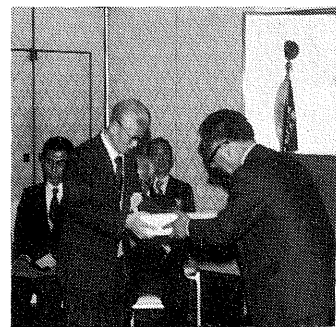


感謝状を受ける小宮山前支部長

が四十円に値上りするような激しさであり、私ども印刷業にはダイレクトメールや第三种郵便物に大きな影響が現われることは必至であります。

このような情勢で今年が昨年以上に、更に厳しい年になることが予想されます。私たちはこの難関を乗り越えるために何をなすべきかと申しますと、先ず印刷工業組合の行なう運動に参加することであり、この組合の運動の中から、自分の企業に合ったものをつかみ取って頂くことであります。

幸いにいたしましたして、印刷組合では、自助努力による安定成長計画を、発展的に第二次構造改善にドッキングすべく策定をいたしましたところ、昨年七月二十四日通産大臣の認可を得て、現在、次年度計画の提出を頂きまして、集約を行な



白橋顧問に組合功労者受彰の記念品の贈呈

い実施段階に入っております。

この構造改善事業は、イコール組合事業でありますので、構改に参加されている方も非参加の方も、これからさまざま具体的な活動や、施策が計画されますので、これに乗って、それぞれの企業の血や肉として体質を強化して、これからの激動する情勢に対処し、ご企業の繁栄に役立てて頂くようにお願いをいたしましてご挨拶と致します。

次いで議事に入り、石曽根支部長が支部規約に則り議長席につき支部提案の議題もなく、組合員からの発言を求める声もないたため、前期役員への感謝状の贈呈に移った。

神田監査によって、五三名の氏名が読みあげられ、石曽根支部長より、小宮山前支部長、副支部長、監査を代表して若林前副支部長、地区長を代表して小葉前地区長、前地区幹事を代表して加藤秀氏に、それぞれ感謝状ならびに記念品が贈呈され、大きな拍子で賛えられた。引続

き、全印工連の組合功労者として、名古屋文化展に於て表彰された、支部顧問の白橋龍夫殿に、京橋支部よりの記念品が石曽根支部長より手渡され 拍手の内に祝賀を受けられた。

以上で臨時総会の議事は終了し、続いて来賓の祝辞へと移った。

まず、東印工組久永理事長が次のように祝辞を述べられた。

——一言お祝いを申しあげます。さき程の臨時総会の席上で、沢山の方々が支部運営に非常にご尽力され、その表彰があり、感謝状が贈られました。前役員の皆様に対しまして、私からも厚くお礼を申しあげます、と同時に敬意を表します次第でございます。

まず祝辞に先だちまして、明けましておめでとございます。

もう既にさき程より、石曽根支部長から昨年の問題、今年の問題、国際的な問題、或いは国内の種々の問題につきまして、縷々いろいろとお話しがありました。加えて私から申しあげる何ものもございませんが、一言お話をさせて頂きますと、昨年は本当にいろいろな問題がありました。私も、計らずも理事長という大役をうけまして、新しい執行部をやってきた訳であります。組合にこんなに仕事があるのかなあとと思う程、次から次へといろいろな問題に出っくわしました。このいろんな問題をそれなりに対応致しましたが、資材の値上げに対しましては、それ

春原 新松 (備すのはら印刷所)	入船 福田 満州男 (福田印刷工業株式会社)	小筆 正敏 (小筆印刷所)	和田 博邦 (和田美術印刷所)	小沢 勤 (大日本ビーアル)	松橋 強 (王友社)	大沢 将 (大沢印刷社)	市川 重雄 (三和印刷社)	齊藤 泰次郎 (文行堂印刷所)	松本 尚武 (南松本印刷所)	中山 英男 (南中山印刷所)	宮川 良一 (南宮川印刷所)	大島 常雄 (三豊社印刷所)	八丁堀 河野 秀衝 (国際印刷)	榎本 義則 (榎本印刷所)	十文字 康雄 (三雄舎印刷所)	小倉 昭夫 (榎相互美術印刷社)	新川 小島 正義 (小島印刷社)	野村 道生 (伊坂美術印刷社)	円谷 欽吾 (共盛堂印刷所)	中村 脩造 (共立印刷社)	船尾 義道 (秀文社印刷社)	佐野 敏夫 (秀文社印刷社)	増田 勝彦 (南長正社印刷所)	石井 泰明 (石井印刷社)	岩本 久人 (支部専従書記)
------------------	------------------------	---------------	-----------------	----------------	------------	--------------	---------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------------------	---------------	-----------------	------------------	------------------	-----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------	---------------	----------------



祝・創刊三周年

の価格転嫁、これを何とか料金に考えてもらわなければならぬということで、これにはいろんな公取の制限がございまして、たけれども、組合としては可能な限り努力を致した心算であります。しかし結果におきましては、どうしてもあまり上げて呉れなかったという声を頂戴しております。私の会社自身も、もう少し上げて呉れなければ、この資材の値上げに対応できないじゃないか、ということを考えましたが、なかなか相手のあることとございまして、充分に納得するような値上げはできなかったような状態でした。

次に、大企業の新規参入の問題がありました。これは大変だ傍観はできない。何とかこの件は、東印工組だけでなしに、全印工連として、この問題におつかつて行かなければならない、ということと、ご案内の通り、印刷分野確保特別委員会を全印工連の場で設けてまして、それで井上先生のご協力を頂戴して、いろいろな折衝を重ねまして、皆様ご承知のとおり昨年の終りに合意書を作製した訳です。しかし、これとても自由経済のもと、我々が考えたこととは若干の隔りがありまして、根本からそれを喰い止めるということとは可能ではありませんが、できる限りの話し合いを向う側と致しました。多少なりともそういった進出の歯止めをするということとは、若干成功したのではないかと考えております。

富士通等の問題も起きており、これもいろいろな交渉の結果、一応の終止符をうちました。これからもいろいろな問題が出てくると思いますが、我々も黙っておったのではないので、抵抗を試みて、印刷業界に参入しようとしても、なかなか印刷業界がしつかりしているから、簡単には入れないぞ、というようなムードづくりというか、そのことの為に結果はどうであれ、これらの問題について努力をするということを考えております。

こういう情勢のもとに、皆様方にご努力をお願いしました新年度の仕事と致しましては、今回認可を頂戴した第二次構改、これをどのように捉え、取り組んで行くか、これが今年の大きな課題であろうかと思っております。京橋支部は、皆様のご協力を得まして、参加率もよろしいようですが、この難かしい知識集約事業でございまして、我々の企業体質を少しでも向上させて行くために、智慧を絞って企業の皆様方のお役に立つ、種々の計画を進めてゆきたい。と、このように存じているわけでありまして。

何と申しましても、こういった組合の事業が、組合員の皆様に浸透するということは、皆様のご努力、ご活躍をお願いする以外にございせん。先程五十名以上の方々のご苦勞に対し、感謝状の贈呈がありました。京橋支部は、皆様のご努力によりまして、二十二支部の中で一番組合員の多い、三百名を超す大支部であります。

あります。これはやはり、支部長をはじめ、役員の皆様のご努力の結晶によるものと考えます。誠に感謝にたえない次第であります。どうか、今後共よろしくお願い申しあげたいと思っております。

本年は酉年であります。大いに活力を羽搏きまして、大変むつかしい年とは思いますが、こういう時にこそ我々の頑張りにより、企業が成長するというこのために、努力をしていかなければならぬと考えます。どうか今後共よろしく組合運営につきまして、ご協力を賜わることとを切にお願い申しあげまして、私のご挨拶にかえさせて頂きます。

皆様のご健勝と、ご企業のご発展をお祈り申しあげます。

司会の水野副支部長より、激励の辞に感謝の気持がのべられ、次に中央区鈴木商工課長の挨拶が行なわれた。



鈴木商工課長の紹介

皆様、あけましておめでとうございませう。甚だ失礼ではありますが、本日区長が各方面の行事と重なっております。参れませぬので、私が替りまして年頭のご挨拶をさせていただきます。極めておめで

# 京橋製本協同組合

- 理事長 佐武朗
- 副理事長 豊田政國
- 専務理事 松谷慶四郎
- 村松敏一

## トウのビジネス封筒

名刺・カード・はがき

- 営業品目
- 事務用和洋封筒
  - 名刺用紙
  - 私製はがき
  - 招待状カード
  - マド付封筒
  - ROMAD封筒
  - DM用封筒

## 株式会社 トウ エニパック

- 本 社 東京都江東区永代1-2-1 電話(642)1141(代表)
- 配送センター 東京都江東区永代1-1-7 電話(643)3237(代表)
- 支 店 城南(727)4141 本郷(643)7461 城西(994)5151 浅草(643)7851
- 栃木工場 栃木県下都賀郡野木町友沼 電話02805(5)2100(代表)

たい、また支部の結束を現す大事なこの臨時総会に、年頭の挨拶と共にまた日常の商工振興活動について、支部のご協力のお礼を申しあげると共に、若干のご報告をさせていただきます。

昨年は大変きびしい経営環境の中で、区は工団連と共に重要なお願いを申しあげた訳であります。ご承知の十月の中央区工業文化展のことでありますが、工団連各支部の力の強さに較べまして、区としては大変微力であったことをひしひしと感じた次第でございます。昨日も工団連の新年会に於きまして、区長より皆様のさすがはと思わせる力働と合わせまして、たいへんお世話になりましたことをお礼申しあげた次第です。私はこの工業文化展は直接商売のメリットが出るものとは考えておりませんが、内外共に大きな成果を挙げたものと確信を致しております。まず内部的には果してできるのであろうか、また果してどういう意義があるのだろうか、これは今だから申しあげる訳ですが紛々と致しております。然し、成功致しますと不思議なもので、大勢は全く逆に流れるものであります。それからこれは区、議会を問わず、公共団体というものの保守的な面を打ち破っていく自助努力と言いますか、皆様の結束と前向きのお力添えがあれば、必ず道が開かれるという一つの例でございます。

思えばこの事業の発端と申しますのも

以前この印刷関連の新年会に於きまして酒をくみ交しながら、切々と訴えられたことを思うわけで、それは印刷業にしろ区内の工業にしろ、正しい理解、地域の中で充分な理解が得られておられない、それが経営者として一番辛いところであると言った声を幾度か聞いた訳でございます。そういうことから非常にメリットの少ない、また厳しい経済状況の中で、むづかしい事業を皆様と共に 敢えて実施した訳でございますが、内外に大きな波紋を呼び開催期間に日曜日があれば、もっと多くの参観者が不便な場所ではあります。が来られたものと確信致しております。印刷業を中心とする区内の工業に対して、学童の教育的にも、また住民社会に致しまして大きな理解が得られたと考えております。それからもう一点は、工団連加盟者の工団連名簿が、初めて立派にでき上ったということでございます。各団体の相互交流と、結束がより深まるいわば礎ができたというふうに判断致しております。

問題は今後、区内の工業とりわけ都心立地産業の、いわゆる立地問題、主として区内における雇用ということに対して目を向けるべき時機にきておりますが、その雇用の問題は、工業団体としてもまた支部としても、区の尻をたたいて取組んでいかなければならない、いわばその基礎固めができたのではなからうかと、私は所管の課長と致しまして、この意義

を感じておる次第でございます。

なおまた、支部長さんのご督励もありまして、私共はささやかながら、国や都の施策の補かんと致しております。例えば商工融資、勤労者融資等これらにつきましても、あらゆる機会を通じまして、種々PRさせて頂きまして、お蔭様で五年度を倍増する額、五年度は約五億の実績でしたが、五年度は十億を超える予想でございます。恐らく今年度末には前年の二倍以上という実績にならうかと存じますが、皆様の経営の一端としてより効率的にこの制度をご利用頂きたいと存じます。これらは既存のささやかな施策でございますが、これからは新しいことよりも、そういう既存のものを掘り起しながら、お手伝いをしつつ、思い切ったやり行政の、スクラップ・アンド・ビルドと言いましょるか、古き物を切り捨てながら、今必要なものに取組んでいかなければならないと、新年に当りまして覚悟をしているところでございます。なおこれからも大方のご叱声と、ご鞭撻を頂きまして、共に進んで参りたいと考えてる次第でございます。

皆様のご健勝をお祈り致しまして、ご挨拶にかえます。

白橋橋工団連会長は登壇して次のように述べた。

—— 只今、ご紹介を頂きました白橋でございます。昨年十月に行なわれました中央区工業文化展につきましては、非常に

対話へのかけ橋

1枚の封筒にも  
大きな使命が  
かせられています。



山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151(代)  
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4-21 電話(652)7721(代)



お忙しい中を、いろいろと皆様のお力添えを頂きましたことを、厚く感謝申しあげます。また今後、工団連として、なんとか事業をしていかなければならないと考えております。昨晩は工団連の新年会がございましたが、その折に、横関中央区長さまより大変温かいお言葉、そして工業展の盛会だったことと、今後の予定に対して力強いお辞を頂きました。

いま思いますが、あれだけの事業をやるのは大変なことであつたと考えるのでございます。今後、各部処に於て計画を致しまして、新しいご報告を申しあげ、皆様と共にそれを生かしてゆくことを念願しております。最後にこの工業文化展の開催に当りまして、区の力が非常に大きなものであることを痛感いたしました。その力と我々の心が一体となりまして成功したものと考えます。今後共どうぞよろしくお願いを申しあげて私のご挨拶と致します。

なお、ついで私事で恐れ入りますが、先刻、東京都印刷工業組合の組合功労者として、記念品を頂戴致しました。誠に有難く厚くお礼を申し上げます。――

伊坂一夫東印工組顧問はユーモアを混えて次のように述べた。

――ご指名を受けましたのでご挨拶致します。こちらに参ります前の会合で、名前を出して悪いかも知れませんが、大王製紙の会がありました。社長が出て話しました。出る前に何を話そうかと、他の役員に相談したところ「話さないことが一番皆が喜ぶ」と皮肉を言われまして、いいえと、会場の皆さんがドツと笑つておりましたが、こちらに参りまし



ユーモアを混えて語られる伊坂顧問

て三分以内と言われましたので、それ間に合うように致しますのでよろしく。

考えてみますと、私が学校を卒業致しましたのが大正十年でございます。毎年組合の新年会には出ておる訳ですが、丁度今年で六十回になります。もう少し私には勉強するよくなるかも知れませんが、しかし、継続は力なり。と申しませす。随分長い間組合にお世話になった訳

であります。今後共皆さんのお導びきを頂いて、業界のため、企業もしくは社会のために、何かはお尽したいと思う訳であります。

昨年は、只今のお話しにもありましたように、中央区工団連の白橋会長ならびに、区当局のお力、お骨折りによりまして、立派に工業文化展が行なわれて、本当に嬉しい限りです。中央区での印刷業というものを、われわれ自身はそれ程感じておりませんが、小学校の三年生の本に中央区の工業ということで、紹介されている訳でございます。その一部として生徒さん達に見て貰えたことは、誠に同慶の至りだと思っております。

組合のほうを担当する支部長、役員の方々は、非常にお忙しいところをご苦労でございますが、今年は昨年のように紙の問題にそう悩むことは無いのではなからうかと思いますが、ご承知の、電算写植という問題になると、種々皆さんと力を合せ、ご指導願つて、この問題に對処できればと思つてございます。

皆様方のご健勝と、ご繁栄を心から祈つて新年の挨拶と致します。

次いで、今回初めて来賓としてお招きした東京商工会議所中央支部、根本事務局長が水野司会によつて紹介され、次のように祝辞をのべた。

――ご紹介を頂きました東京商工会議所中央支部の根本でございます。皆様あけましておめでとうございます。

紙の心をお届けする

# HAGA

HAGA PAPER CO., LTD.

株式会社芳賀洋紙店

本社 / 東京都中央区新川1-25-7  
 〒104 Tel. 03 (552) 9251 (大代)

杉並・仙台・高崎・名古屋・大阪・福岡

名は力封 カレンダー

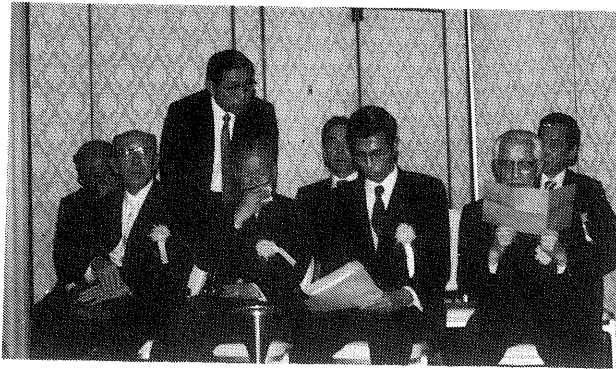
刺きド筒

業界のトップメーカーで  
 全国で一番よく使われている!

TRADE (TM) MARK

## ハート株式会社

東京東支店	135 東京都江東区冬木15番10号 電話(03) 641-1153番
東京西支店	166 東京都杉並区高円寺南2丁目37番4号 電話(03)316-2151代表-4番
東京南支店	140 東京都品川区東品川3丁目26番4号 電話(03)450-1911代表-4番
東京北支店	112 東京都文京区水道2丁目8番6号 電話(03)941-3141代表-6番



ご来賓の紹介で起立される牧野製本組合京橋支部長

本日は京橋支部の新年臨時総会におおきき頂きまして、組合員の皆様にかかかかる機会ができましたことを、非常にうれしく思っております。

昨年は、内外ともに年初予想もなかったことで、皆様がた経営に携ってご苦労が多かった年ではなかったかと思っております。本年もまた先程来お話がおりますようになかなか厳しいようであります。景気も、曇りのち稍々日が射し込むか? というようなところが、どうも一般的な見通しのように、ございますが、西年はとかく、事多しとかいうこともございますので、どんなことが出てくるか

と案じております。こういった情勢の中で印刷組合も、第二次構改革に昨年からお取組みでございまして、厳しい中を組織としていかに生き抜いてゆかかという面でも、非常にご努力を払っておられる点に、深く敬意を表するものでございます。個々の経営者の皆様方にも、そういった情勢を踏まえて、種々と対策を検討されておられることと存じます。

実は、商工会議所も、地域の経済発展の目的で、各地に支部を設けて頂いておりますが、中央支部ができましたのは約六年前でございます。約六年前、仕事をさせて頂いた訳でございますが、短い期間でまだ地域の、商工業の皆様に分ご理解を願っております。そういう点で反省しておる次第でございます。

年初の商工会議所会頭の挨拶でございますが、商工会議所の三大事業ということで、中小企業対策を含めて、三本の柱がありますが、今年も中小企業対策を最重要事業としてゆこうではないか、という水野会頭の方針でございます。そこで中央支部に於きましても、地域の商工業の皆様と手広く接触をさせて頂きたいと考えております。

印刷は、中央区に於きます最重要産業でございます。また京橋支部は、われわれ商工会議所中央支部と同じビルにありますが、旧来にまして接触を強化して少しでも皆様のお役に立つような事業をさせて頂きたいと考えております。



友誼団体を代表して平林日本橋支部長

今年が皆様方にとりまして、佳い年でありますように、また皆様のご健勝であることをお祈りし、京橋支部の益々のご発展を祈念致しまして、新年の挨拶とさせて頂きます。

つづいて水野司会は、来賓として東京都製本組合京橋支部、牧野佐武朗支部長、東京都印刷工業組合日本橋支部、平林智司支部長、東京軽印刷工業会中央支部、綿貫隆久支部長の三氏の紹介が行なわれ、三氏を代表して、平林支部長が祝辞のべられた。

本日はお招き頂いた上に、ご挨拶の礼を賜りましたことを深く感謝致します。なにはともあれ、非常に嬉しい新年を迎えたのではないかと思います。いろいろとご来賓各位からも、今年の厳しさについて懇々ご説明がございましたよう

に、私もまことにその通りだと思っております。先輩諸氏より詳しいご説明もございましたので、敢えてそのことは申しませんが、この一行政区に、二つにまたがったのが、日本橋支部と、京橋支部でございます。私達はこのお隣の京橋支部を兄貴支部として、今後一層団結を固めて、邁進して参りたいと思っております。どうかいろいろ私達をお導び下さいます、素晴らしい年となりますようご祈念申しあげます。誠に簡単ではございますがご挨拶にかえます。どうも有難うございました。

以上で来賓の祝辞がとどこりなく終り、最後に閉会の辞を神林副支部長は次のようにのべた。

閉会に当りまして一ことご挨拶を申しあげます。本日はご来賓の皆様、組合員の皆様、多数のお集りを頂きまして、長時間に亘りました、新年臨時総会も無事終了いたしました。執行部一同、心から厚くお礼を申しあげます。またご来賓の皆様方より、心あるご祝辞を頂戴致しましたことを厚くお礼申しあげます。

今後共、京橋支部ならびに我々執行部に対しまして、ご指導ご鞭撻の程を皆様にお願ひ申しあげます。

組合員皆様様の社業の益々のご発展とご健勝を祈念致しまして、甚だ簡単ではございますが閉会のことばとさせて頂きます。どうも本日は長時間に亘り誠にあ



りがとうございました。

以上で支部臨時総会は無事終了し、十分間の休憩の後、関連業界を交えて新年宴会と移った。

関連業界の方々は、定刻前より続々と



開会の神林副支部長

参集して受付の記帳を済ませたが、定刻

六時大広間の扉は大きく開かれ、組合員百三十二名、関連業者五十七名、ご来賓、報道その他二十数名と、合計二百名を超す人々が会場に入り、さしもの大宴会場も狭まった感じがする程であった。

新年宴会は、三田村副支部長の司会で始まり、まず石曾根支部長は、

「組合員の皆様には、先程までの困苦しい臨時総会にご協力を頂きまして有難うございました。これからの新年会で寛いでご歓談をお願い申し上げます。」

本日の、この新年会には、当京橋支部が昨年中大変お世話になりました、関連業界の方々をお招きしてございますので、ご挨拶とお礼を申しあげます。

関連業の皆様、ようこそお出でくださいました。多数の皆様のご参加を頂きまして、新年会に一段と華を添えてくださいます。厚くお礼を

### お礼のことば

前支部長 小宮山 敬之

過日開催された当支部新年臨時総会におきましては、前期退任役員一同に對し感謝状ならびに記念品の授与式が行われ一同有難く拝受致しました。ここに役員一同を代表し、厚くお礼を申し上げます。

昨年四月任期満了に伴い退任してから早いもので既に九ヶ月を経過致しました。その当時は無事大任を果した思いが一杯で、正直な所ほっとした気持ちでございました。ところが今度このような機会に接しますと、果してそれにふさわしいようなご期待に添い得たのだろうか、反省の気持ち一杯でございます。浅学非才はもとより承知の身であります。浅学非才はもとより承知の身であります。浅学非才はもとより承知の身であります。浅学非才はもとより承知の身であります。

申しあげます。年が改まり、おめでとうと心から申しあげられないような私達を取りまく厳しい環境であります。新年のご挨拶を申しあげます。

とを深謝する次第でございます。

幸い現執行部は、組合行政には練達の石曾根支部長さんを中心に結束され、極めてご熱心なる事業運営を展開されております。このことは前執行部の足らざるを補うに十分のご活動で、寔に感謝にたえない次第でございます。

本年も昨年に引続き混迷の度を加えており、印刷業界は正念場を迎えております。組合事業も第二次構改革業を中心に展開されますが、このような難しい時期こそ結束して支部運営に参画すべきではないでしょうか。このような認識と姿勢こそ各企業のご繁栄に通じる道ではないでしょうか。災転じて福となす年にしたいものです。

末筆ですが京橋支部の発展と、組合員皆様さまのご事業のご繁栄、そしてご健勝を祈念してお礼のことばと致します。

しあげます。

昨年は、当支部の月刊の機関紙「京橋の印刷」に、関連業界の皆様のご協賛を頂きまして、定期的に発行することが

## 写植のことなら何でも...

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成(写植スクール)
- 版下マンの養成(フィニッシュワークスクール)

# 株式会社 モリサワ

東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 〒162 ☎03-267-1231

## ここに鮮やかな一枚

ノーカーボン紙  
レジシ CCP

## 十條製紙

〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)  
TEL. 東京(03)211-7311

この催は、印刷業界が中軸となつて行なわれた関係で、これまた関連業の皆様のご協賛を頂きました。この席をお借りしてお礼を申し上げます。

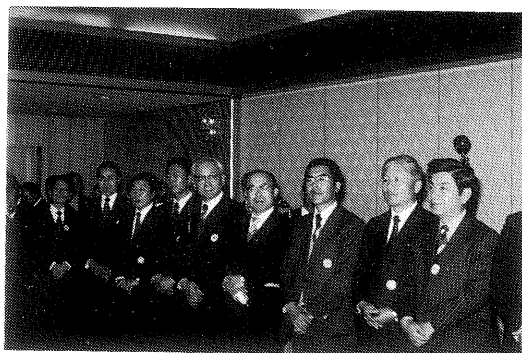
今年も西年で、縁起の良い年と言われているのですが、しかし、曆の上では辛酉(かのとり)と申しまして、辛い西年と言うことで、六十年に一度、廻ってく

きました。今後引続きご協力の程をお願い申し上げます。

また、支部運営に欠かすことのできない、支部組合員名簿の発刊に当りまして、皆様のご協賛を頂きまして、更に昨年十月に中央区と中央区工業文化展は、予想以上の成果を、収めることができました。



新年宴会で挨拶をする石曾根支部長



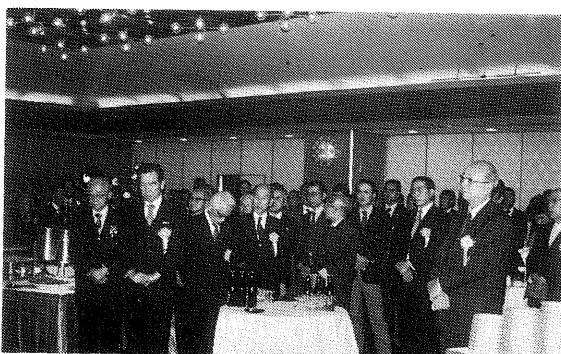
順次自己紹介をされる印刷関連業の方々

る苛酷な年廻りで、昔から庶民は年貢や、租税に苦しめられたと言ひ伝えられております。

そのためか、激動の八〇年代を迎え厳しい環境にありますが、私も印刷業界におきましては、第二次構造改善計画を推進し、企業基盤確立を目的に適正生産方式を導入しまして、体質の近代化を進めております。

関連業界の皆様には、更なるお力添えをお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

これに続き、関連業界を代表して、千代田印刷機製造株式会社、古賀健一郎社長より、関連業を代表して挨拶が行なわれた。乾杯の音頭は、小宮山敬之常任理



宴会をまえにして

大広間に数多く置かれたテーブルには、和洋とりまぜて料理が並べられ、その盛沢山で豊富な種類に食欲をそそられ、飲み物も和洋酒ともたっぷりと出され、賑やかに歓談に入った。この間に、関連業界の方々の自己紹介が行なわれた。

三遊亭楽太郎の軽妙な演芸司会は、今迄にない雰囲気、鏡味小鉄の獅子舞も

事がとり、大企業参入の問題について、印刷分野確保特別委員としての、立場から。経緯に触れ、また印刷業界は例年、辛いシビアな年を迎えていると前置きして、これに組合全体が結束して当り、お互に情報を交換して企業防衛に努めようと結び、高々と杯を上げた。

日本を代表するインキ

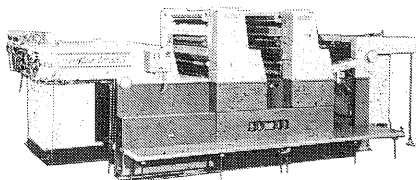
TOYO KING  
**ULTRA70**



**東洋インキ**

新鋭機設置...プリント界をリードする技術!

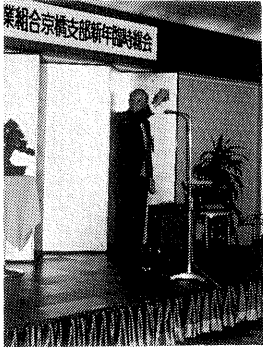
●ミラーTP-38S<菊全2色刷両面兼用機>



既設機種/小森四六半截・エクセル1色機/菊全ニューフニー2色機

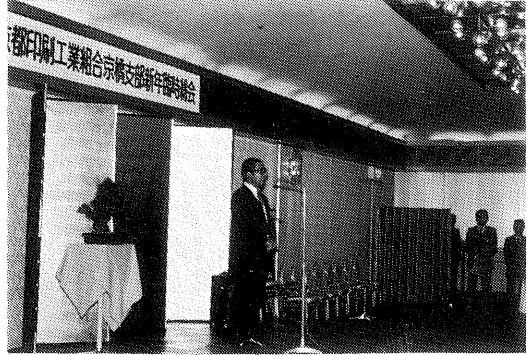
**松川印刷株式会社**

〒104 中央区湊1-12-5 ☎553-0831代



乾杯の小宮山常務理事

新しい年に相応しく賑やかで華やいだ。北海マキの手品はいかにも不思議で、近付いて見てもそのトリックが判らないのに、感嘆の声がしばしば起きた。組合員の飛び入りも、湊地区の協和美術印刷機浅野社長を皮切りに、つぎつぎと披露された。料理や飲み物もあとからあとがらと運ばれ、宴も酣となったが、ここで花崎実顧問によって中締めが行なわれ、初め



関連業の代表して古賀氏(千代田印刷機製造)



演芸司会に三遊亭楽太郎

ての試みである都内の会場での新年会も好評のうちに幕を閉じた。この日、二百余名の来場者の対応には八千代印刷機から女子二名、機久栄社印刷より佐々木部長、児玉地区長等の応援を得たお蔭で、混乱もなく、無事終了し



情報交換も盛んな新年宴会

**「京橋の印刷」**

**四月号原稿募集**

組合員の皆さんの機関誌として、皆さんに親しまれ、皆さんの手で育てていく為に家族や従業員からも原稿を募集します。奮ってご応募ください。

**内 容** 論説、技能、技術、体験、創意工夫、営業などの情報交換、文芸作品、地区だより、組合員の声、写真など。

**締 切** 三月二〇日

**宛 先** 東京都中央区新富一―一六―八(日本印刷会館三階)

**注 意** 東京都印刷工業組合京橋支部「京橋の印刷」と朱書してください。

だが、執行部総動員でやっと乗り切った感じがであった。



演芸の飛び入りは浅野智一氏

R  
加工

業界の  
トップレベルを行く

宏和樹脂工業株式会社

東京都板橋区蓮沼町51-2  
TEL 965-2711 代表

— 無担保・無保証人 —

文信フリーローン

— 上手な住居づくりに —

文信マイホームローン

(一) 文化産業信用組合 | 京橋支店

東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625(代) ☎104

# 新年の憂い

安信製版 樽

月島地区長 小池 馨

昨年のいまごろは大変に憂いの多い新年だった。一昨年暮れから、いわゆる狂乱物価を思わせるような諸資材の高騰は、それが石油に源を發していただけに、予測できにくいものがあった。実際に原油価格は、昨年一―三月が前年同期に比して二・二倍も上がったのであるから。多少は資材の買い置きはできたとしても、そのような対策では防ぎようがなかった。

その結果、我々もお得意と価格の改定交渉をせざるをえないなど、何かと大変な幕明けだったが、それも年度後半には一段落し、その後の物価はまずまずのところに落ち着いていると思う。

さて、今年はどうだろうか。やはり最大の関心事は財政再建をめぐる諸々の動きだろう。税制の強化、公共料金の値上げが目白押しに予定されており、中でも郵便料金の値上げは、当業界にもダイレクトメール、葉書、三種郵便物などを通じて少なからずの影響があり、徐々に圧迫感が浸透してくるものと思われる。

次に業界にとって大きな問題は日立、各省庁の共済関係、石播を中心とした三

井系、日産自動車、さらにコンピュータの富士通アプリコが、新たに印刷業界に参入しようとしていることである。特に富士通の参入は、その影響がどの程度出てくるのかまったく見当もつかない。

自社で開発した機械を使用しながら、更に新たな技術開発を進めていくという、一石二鳥にも三鳥にもなるわけで、しかも自社の定年退職技術者を使い富士通グループ、富士電機グループの印刷物を手がけるといふ。設備に余力が生じてくれば他の印刷物にも手を広げていくことになるだろう。現在のところ、グループ内だけの印刷と言ってはいるが、日立や石播の例にもみられるように、各社とも当初は自社グループだけと宣言しながら、いずれも企業として軌道に乗ってくるにしたいが、グループ以外の受注をど

んどん手がているのが現状である。そして開発した機械は、四―五年置きぐらいでモデルチェンジして、旧来のものは部品供給しないから、業界にしてみればモデルチェンジに追隨していかなければならぬ。これでは当業界のような資本力の小さいところはひとたまりもな

い。やがては大手数社だけがコンピュータを駆使した寡占業界になるか、ダンピングに明け暮れる業界と化す危険がある。

私は暮に、上野の松坂屋に全日本カレンダー展を見に行つて驚いてしまった。出品数千点はあったと思うが、その中で我々が準大手と思つている社の出品物は数えるほどしかなく、実に八〇%は大日本と凸版の出品物だった。これでは「大日本印刷・凸版印刷カレンダー展」と銘打つた方がよいのではないかとさえ思つた次第である。こんな現状をみるにつけて我々業界が大手を入れずに、印刷工業組合を中心に結束し、悪戦苦闘してもどれだけ実を上げえるのか、実に心寒々とした次第である。

このカレンダー展は一つの例にすぎず、すべての出版物で大手のこれら企業が八〇%ものシェアを持つていふと思われぬが、いづれにしても大手主導の寡占化状態が着実に進行しているとはいえるだろう。

さきごろ古い友人に会つた時の話である。その友人は某大会社の要職についているのだが、世間話をしてるうちに印刷業の話になった。それが通り一辺の話ではなく、微に入り細にわたつてくるのでその真意を聞いてみたら、部下が最近退職して印刷会社を始めたという。いわゆる脱サラだが、それも素人である。

印刷技術は機械の性能向上に加え、自

## 印刷製本が支える 組合給食

事業主と従業員の栄養源  
健康を守る

## 給食センター

中央厚生事業協同組合(551)4909

理事長 清水 栄之助

◎ご利用をお待ちして居ます

三菱製紙特約店

株式会社 三和洋紙店

本社 東京都中央区入船3丁目4番1号  
電話 東京 (552) 2731番 (代表)

動化の発達などによって、かつてに比べると非常に平準化され、機械の操作が楽になった。そうした技術的な進歩が、新たな参入を呼んでいるのは否定しえない事実と思う。その結果どうなるのか。いうまでもなく小規模な企業が乱立して行くことになる。

一方で大手企業のシェア拡大があり、他方でそうした小企業が増えてくるといふことは業界を大きな混乱の渦に巻き込

月島地区幹事さん紹介

石井泰明さん



石井印刷株式会社。生年/S17・10・1  
職歴/大阪出身で、天王寺で高校を終えて上京、石井印刷入社。先代社長の手足となって営業に専念。根性と努力を認められ、数を認められ、数ある候補者の中からお婿さんに迎えられましたその間工場火災に会うなど苦難もありましたが、現会長を助け、会社の発展に努力されました。S54年社長就任。地区では二世会と両方で活躍中です。寸評/家庭にあつては二男一女の父。地域の子供会のお長を努め、子供の無限の加能性が大好とのこと。趣味も多く努力家。

増田勝彦さん



(有)長正社印刷所社長。生年/S12・1・10。職歴/都立三商を卒業後、先代社長を補佐して、S34年には専務に就任し、その後は殆んど一人で、営業から技術面に至るまで切り廻し旧来の機械全部を廃棄しハイデールに設備を一新し、質の向上を計り社業は益々発展しました。また地域においてはPTA、少年野球など教育関係にも熱心で、その方面でも活躍中です。趣味/詩吟が特に有名で、当支部でも何回か耳にされた方もあると思います。もう趣味の域を脱しました後輩の指導に当っております。

んでしまうことになる。まさに戦国時代さながら天下麻の如しの業界構造になる危険さえある。我々はそうした事態にどう対応していけばよいのだろうか、実のところ確たるものは何も無いといつてよさそうである。組合を防波堤にしなが

ら、組織的に対抗していくしか道はないのではないだろうか。

標題をあえて「新年の憂い」とし、寿ぐべき年明けに危機感だけを摘出したき

らいがあることをお詫びしたいが、新玉に辛口のトソというところでご容赦願いたいと思う。

今年では年明けから円高傾向が加速しており、その意味では資材の価格安定と安定供給といった効用はあると思うし、また近々公定歩合の再引き下げも取沙汰されているなど、明るい見通しがないではない。石油がどうなるかで局面は変わるが、経済の各指標はまずまずとの予測が立てられている。平穏な一年となることを切に願いたいものである。

ありがとうございます

例年恒例となりました京橋支部新年総会に於ける、恵まれない子供、肢体不自由児の学校である。「おむの木学園」への、皆様の善意をわけて頂く募金ピンが今年も、二本用意され、組合員、関連業者等から寄せられた浄財が二万一千八百参拾円集まりました。皆様にご報告傍々お礼を申し上げます。



生産性の「拡大」に  
「コニースーパーテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機

小森印刷機械株式会社

本社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 東京 (624)7161番(大代表)

# 数 字 ぎ ら い

小宮山印刷株式会社 京橋地区一

小 岩 陸 奥 雄

「二尺六寸かける三尺六寸が四六判だ」と覚えた年代の私共には、七八八ミリかける一〇九一ミリが、なかなか覚えられません。ナナバツパーのイチマルキュウイチなんて棒暗記してみても、B5判は？、A全判は？、K判は？、菊判は、となると、もうお手あげ。

「えーと、B5判は六寸かける八寸五分で、三尺三寸が一メートルだから、えーと、おい電卓!!、電卓!!」なんて騒いでもはじまらないのであります。「昔の方が覚えやすかったよなあ」なんて、斤やポンドをなつかしがるようでは、お年が知れようというもの。私ごとで恐縮ですが、昭和のひと柄なんて若いふりをしてみても、今年であしかけ五十五歳。ふりかえって見て、どの年代に数字をよく覚えたとはいえ、小学生から旧制の中学ぐらいの頃までで、社会へ出てからというものは、「ハ」抜きの「イロハ」を覚えるに夢中であつたりして、記憶力の方は、減退一方のようでありました。物の本によりますと、五歳から六歳ぐらいで頭の構造の方は八分どおり出来上り、物覚えの方はやっぱり二十歳前後ぐらいで

ストップのようであります。ピタゴラスの定理なんぞという難しい数学の原理などを発見された大先生なども、大体十代の後半から二十代にかけてなしとげられているとこのことでもあります。このような本を読みました私は一念発起? いたしまして、二十代の後半頃から数字は一切覚えないうちにいたしました。どうせ数字に弱いんだから、徹底的に覚えないうちにしよう。そのかわり、用紙寸法であれ、資材単価であれ、数字だけでなく、とても覚えきれないなあと思うものは、すべて名刺大のカードに記入し、肌身離さず持ち歩くことにいたしました。これにて、どうやら数字音痴から開放され、逆に小岩は数字に強いなどという、あれもない名誉なお言葉を賜つたりいたしました。

金一両は七万五千元也。

江戸時代の一両は、現代の七万五千元

位でありました。二十万円の給料取りは月収三兩弱ということでもあります。坂本竜馬が創設した海援隊の隊員に支払われた給金が三兩だったというから面白いですね。千両箱となると七千五百万円。三億円事件は、四千両盗難事件ということになります。江戸時代は、銭と金とは違つておりました。よく「江戸っ子は宵越の銭は持たねえ」なんぞと気づぶの良ことを申しましたが、これは金ではなくて銭なのであります。金は、大判(十兩)、小判(一兩)、一兩の四分の一が一分で一分の四分の一が一朱。このほかに銀貨として丁銀や豆板銀などがありました。それらは不定量のもので、いちいちはかりにかけて使つたらしいのですが、金一両は銀六十匁が相場であつたとか。さて銭は銅貨で、一文銭、二文銭の穴あき銭です。金一両は銭四千文。これを四貫文といつたそうであります。二八そばは、二八・十六で十六文のこと、一兩が七万五千元なら四千分の一の一文は十八円七十五銭。従つて十六文の二八そばは、ちようど三百円。現代立喰そばのお値段に似たあたりも面白いですね。

コンピュータの脳味噌はタコの頭ぐらい。

数字に弱いなんて言つてはおられませんが、いよいよコンピュータが事務機の上に乗るような小型化、大衆化の時代が来

プロセスインキの最高峰

New Champion

# Super Apex



大日本インキ化学

## 山 桜 製 品



株式会社 山 桜

本社 東京都中央区築地 3-2-9  
 電話 542-8511 (大代)  
 工場 東京都昭島市大神町 1046 番地  
 支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有  
 墨田・蒲田・横浜・千葉・大坂



たようです。先年、京橋地区はモリイチの社長さんから、ある会合で「コンピュータの脳味噌は今のところタコの頭ぐらい」というお話を承ったことがございます。コンピュータが計算や記憶したものを、瞬時に出力する能力はたいしたものだが、判断したり、批判したり、立案したりする能力がないから、人間様に比べると、脳味噌はタコの頭位といったお話であつたかと思ひます。近頃このタコ君の頭もどんどん進化して来たようでありませう。

だいたいコンピュータの記憶素子というものは四し五ミリ角の薄板にプリント基盤のような電流回路を縦横にはりめぐらしたものでこれに1(電流が流れる)とか0(電流が切れる)とか記憶させるものらしく、その最低単位を1ビットと言ひ、8ビットを1バイトと言ひます。1バイトで、仮名文字1字分か、又は数字2字分を記憶することが出来ます。百二十八バイトを1キロビットと言ひ、LSI個一(さきほど申しあげた四し五ミリ角の小片一個)で六十四キロビット記憶できます。そろそろ、ややこしくなってきましたね。六十四キロビットのLSI一枚で、何文字記憶させることが出来るのでしょうか。数字なら一万六千三百八十四文字記憶できることになりませう。女の子のイヤリングにしてもよい位の小片一個でこれだけの文字や記号が記憶されます。六十四キロビットのLSIまで

はなんと印刷技術の応用で製造することが出来ますが、これ以上となると、レーザー光線などを応用した全く別の製造方式になります。沖電気さんは東品川の工場敷地を売却し、社運をかけてこの六十四キロビットのLSI生産工場を九州に建設中と取沙汰されていますが、片方では一九八一年中には、日本かアメリカで、二五六キロビットの超LSIが出来上る

### 京橋法人会第五支部 新年賀詞交歓会

恒例の京橋法人会第五支部、新年賀詞交歓会は、一月十三日午後四時より、新富町「松志満」に於て開催された。当日は朝から肌寒い曇つた日であつたが、会場の松志満の大広間は温かく華やいで、床の間には菊と万両が活けられ、軸は鶴と老松の美事な双幅であつた。

定刻を稍々過ぎて、荒川副支部長(三荒印刷興業(株)社長)の司会により、まず小川支部長(株)ハコネ薬局社長)が年頭の挨拶を行なつたが、京橋法人会加入状況に触れ、現在会員数九千余社を、本年中に一万社に増強したい意嚮をのべ、さらに第五支部に於ても、あと二百社の増加が望ましいと訴えたが、なお本年二月から三月の第二回増強月間の実施に当つて、各位の御協力を願うと結んだ。

次いで、ご来賓の京橋税務署、渡辺淳一副署長より、本年は増税その他何かと難しい年であるが、法人会の発展を願う

であろうと言われています。女性のイヤリングの中に何と六万五千五百三十六文字の記憶容量が内蔵され、やがて大型コンピュータは事務機の上にチョコナンと乗るようになるのであります。数字の羅列で、まことにお疲れさまでした。どうやら、やっぱり数字は覚えきれぬものではなくって、メモっていけばよい時代になって来たようであります。

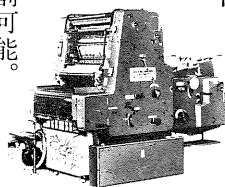
### 新年賀詞交歓会

と共に、税の公平について努力をするとの力強い祝辞があり、遊橋勇法源第十四統括官、川島修上席指導官、井出竹幸申告指導官の方々から、有意義なお辞を戴いた。続いて、京橋法人会、緒方奎太専務理事は、接待交際費について、現在の限度額は、中小企業者にとつてこれの大部分を取売促進費に充てているのであつて、大企業なみの一律二百方は、われわれにとつて誠に致命的であると、反対を表明した。

この日、四十七名が出席したが、広川寅雄顧問(株)ヒロカワ宝飾社長)の乾杯の首領により懇親会に移つたが、桜川善平の軽妙洒落な獅子舞に拍手が沸き、新富町の綺麗どころの手踊りに、ゆつたりとした新春気分が漂ひ、諸所で歓談が続き、宴も盛り上つた、約二時間後、小栗忠昭監査(株)小栗印刷所社長)の中締めによつて六時半過ぎ解散した。

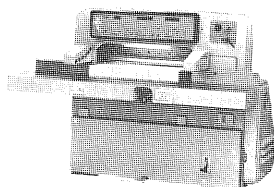
## ハイデル情報

ハイデル単色Mオフセット機  
菊半裁判 四八〇×六五〇%  
最高速度八千  
毎時。ナン  
バリング、  
刷り込み、  
ミシン目  
入れ、二分割可能。



## ポラー情報

ポラー九二EMC断裁機。  
最大断裁幅九二cm  
マイクログ  
ンピュータ  
搭載の新高  
速断裁機。  
積紙高士cm  
重量一六〇kg



## 印刷機械貿易株式会社

香里本社 大阪府寝屋川市豊里町一四  
電話〇七二〇三三二一〇四四一  
東京事業部 東京都品川区南大井三二一四  
電話〇三二七六三二四一四一

組合員の声

「構改調査表」がまだ提出されていないから至急出して欲しいと、地区長から催促の電話があった。昨年、用紙が配られたが、何やら細かい調査項目がたくさんあって、われわれ日常の仕事に追われている者にとって、時間をかけて記入する余裕もないのでその儘になっていたが、判る範囲内で書くことにしたが、思うにこれらのコマゴマした項目を書いてみても果して、どれだけのメリットがわれわれに還ってくるのであるか？ 非常に疑問である。

時々開催される講演会や、講習会、研修会等に出かけてみるが、出席しても忙しい時間をさいたわりには、あまり役立つ情報や、システム等の話はきかれない。もっと組合は、零細な組合員のための、何らかの収益を考える必要があるのではなからうか？

今からではもう遅いかも知れないが、他産業からの新規参入や、またそれらの会社に印刷機械を売る、資材業界に対して、もっと強力に、規制のイニシヤティブを組合がとれないものかと思う。

このままではわれわれはザリ貧におちいるのを待つばかりで、組合に入っている恩恵はほとんどない。組合も組合費をとる以上もっとしっかりとやらしてもらわないと、組合の存立基盤が無くなるのではなからうか。(一組合員より)

支部の動き

12月1日、臨時部長、監査会開催、支部新年臨時総会の準備打合せを行う。

12月3日、本部支部長会開催、石曽根支部長出席。構改調査表早期回収依頼あり。日産グラフィック問題の説明を聞く。

12月19日、部長、地区長会開催、於八丁堀、鳥福。新年会開催について打合せを行う。

12月29日、支部事務納め。

1月6日、製本組合京橋支部の新年役員会、於、福新楼、石曽根支部長出席。

1月8日、中央区工団連新年会開催、於築地スエヒロ、石曽根支部長、田島副支部長、水野副支部長他常任理事ら7名出席。

1月8日、本部新年名刺交換会開催、於帝国ホテル、伊坂本部顧問、小宮山常務理事、石曽根支部長他出席。

1月9日、京橋支部新年臨時総会開催、於銀座東急ホテル。

1月13日、東印工組日本橋支部新年会開催、於京橋会館、石曽根支部長出席 祝辞をのべる。

1月16日、本部支部長会開催、於銀座キヤピタルホテル、石曽根支部長出席 印刷分野確保、プリンティングフェア開催等について討議。

1月19日、中央厚生事業協組新年会開催

於羅金楼、石曽根支部長、田島、坂田、田島、三田村各支部長出席。 1月22日、京橋電気安全協会新年会開催 於、築地スエヒロ、田島副支部長出席。

1月29日、本部理事会開催、於印刷会館 石曽根支部長他、各理事出席。

組合員の異動

加入組合員、湊地区、東興美術印刷、社長 伊東子篤氏 (55年5月加入)

湊地区 マルナカ印刷 社長 阿部稔氏 (55年7月加入)

脱退組合員、八丁堀 榑新龍社、社長 上木義新氏 (55年5月脱退)

湊地区 介和之印刷、社長 糸賀三氏 (55年5月脱退)

新富地区 光洋印刷(有) 社長 林博太郎氏 (55年9月脱退)

告知板

社名変更、入船地区 明光社印刷所は、(有)新明印刷所と名称を変えました。八丁堀地区 創文印刷(株)は、(株)創文と社名を変更しました。

通常総会、京橋支部56年度通常総会は、4月10日(金)、午後四時開会予定。

計報

▽12月20日、銀座地区組合員、(株)文海堂社長御母堂、松岡ブン様が御逝去されました慎んでお悔み申し上げます。

編集後記

▼穏やかな暖かい正月を迎えて、81年の幕あけは静かで、テレビはどのチャンネルを廻しても、漫才が早口にまくしたてて天下泰平の大日本萬歳? を寿いでいました。が、北海道、北陸の降雪は、昭和38年の豪雪を上廻り、福井、富山、石川では、生活に支障がで初め、産業活動もストップし、悲しい犠牲も数多く報じられています。

▼京橋支部臨時総会も9日無事終り、執行部一同やれやれと胸なでおろしているところですが、支部は、引続き4月19日の通常総会にそなえて出発進行。その前にプリンティング・フェアが控えており、9月18、22日は印刷文化展と、今年も目白押しに行事がならんでいます。

▼発売から二、三日で売切れた年賀ハガキも、デパートや本屋でだぶつき、郵政省はニガイ顔、組合員の中には不心得者は居なかった由だか、売れ残りは、5円の手数料で交換とはいえ、買い占め一山組の大損は必至、これからもヤバイことは自肅にかざる。

▼印刷、製本業に於ける災害発生状況一 東京都労働基準局安全課の調査によると木材、化学、金属、機械、建築など、災害が減少しているなかで、印刷製本関連の事故は増加、印刷機に巻き込まれた、断截機で指を落したなど憂慮すべきで、次号ではこの数字を掲載のよいて。